

# 学校教育と民間教育を繋ぐ ICT環境整備の推進について

2019年10月11日

全国学習塾協会 専務理事  
常石博之【株式会社SPRIX】



SPRIX

## 1. オーバービュー



## 2. 「自立学習RED」とは

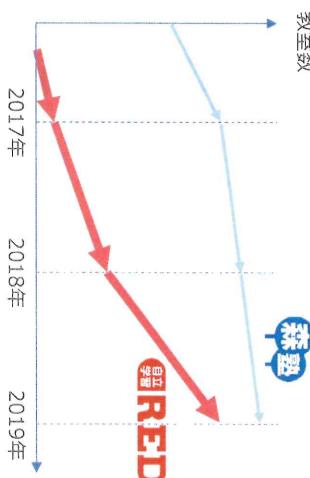
自立学習  
**RED**

### 概要

- 自立学習塾とは、集団指導塾、個別指導塾に続く第三の塾形態を標榜するもので両指導塾のメリットをICTを活用することで有機的にブレンドしたもの
- 成績を上げるために重要な「自分から勉強する力」を育て、生徒ひとりひとりの学力に合わせた学習プログラムを提供
- 生徒はタブレットを使いそれぞれのペースで学習を進め、講師は生徒をモチベート、または生徒が分からぬ際の指導サポートを行なう

### 実績

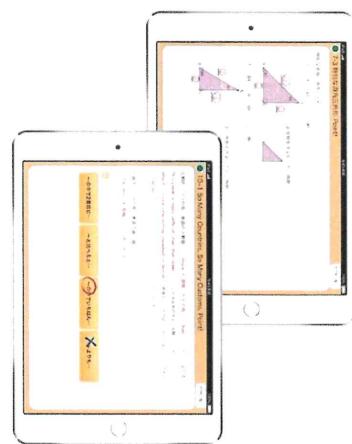
- 学習塾における「講師不足→自立学習形態」のニーズ、保護者における「生徒のペースに合わせた学習」ニーズ、を背景に教室数は急伸
- 「自立学習RED」の教室数は、今春開校の20教室を含め、現在80を超える、短期的に100教室を超える見込み



## 3. 「eアオレスタ」とは

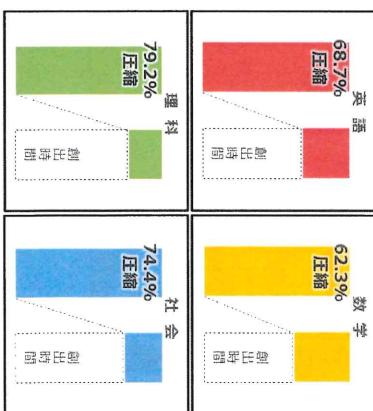
### 概要

- 「自立学習RED」において、学習プログラムを提供する基幹エンジンが「eアオレスタ」
- 「eアオレスタ」のポイントとなる特徴(は以下の通り)
  - AIを活用した個別最適化学習プログラム
  - タブレットを使用した学習スタイル
  - 目的は中学校の定期テストの点数獲得
  - 教科すべて教科書に準拠



### 実績

- 2018年度「未来の教室」実証事業において、学校の先生10名と議論を進め、公教育の現場においても「eアオレスタ」の活用が可能である、と結論付けた
- また、「eアオレスタ」により授業を実践した場合、現在の「標準授業時数」と比べ、理論値ながら、各教科において大幅に授業時間を圧縮することが可能となる
- これにより、探究・プロジェクト型学習、STEAM学習等を導入するための時間創出が実現できる



### 3. 「eフオレスタ」とは つづき

e<sup>7πVRA</sup>

- 問題が持つ要素（＝「要因」）にまで分解することで、それぞれの生徒が解くべき問題を単元レベルではなく、**単問レベルで最適化**
  - ビッグデータにより、同じ問題でも生徒により**解説の濃淡が変動する**
  - AIが「定着」を判定。クリアするまで繰り返し学習
  - 生徒の理解度に応じた宿題や解答時間を見直す

(6) p.87 2-3 次元の焼き方 Trv						
力で握り	握り	かたち	處理	1	2	3
拳頭	拳頭	A	1	1	1	1
拳頭	拳頭	A	2			
拳頭	拳頭	A	3			
握り	握り	B	1	1	1	1
握り	握り	B	2			
握り	握り	B	3			

- 生徒の理解度[「本」「本」]を宿題や解答時間を自動的にブッシュAIが「足看」を判定。アラリするままで繰り返し学習

4. 2019年度「『未来の教室』実証事業」

テーマ：「到達度主義にチャレンジする授業実践とエビデンス収集」



## 複数教科における Eラーニングの実践

國學新知

主義度量到

卷之十

國學新知

おける

複数教科における

正言

10

● 赤坂中学校  
● 青山中学校

長岡市教育委員会  
・川口中学校  
・北辰中学校

日本全国横展開

地方都市

宮城黎明中学校  
古川

## 5. 現在の展開 – 古川黎明中学校

### 生徒インタビュー

生徒インタビュー①  
勉強はどの程度?



- ・学習スピードはかなり速くなった
- ・分からぬところはクリアテストで復習できるから、理解も深まった

### 先生インタビュー

先生インタビュー①  
相澤先生：ICT×個別学習計画を実践中



- ・教員はしゃべりたい職業。生徒が集中しているときに邪魔しないという新しいかたちが出来てくる
- ・「個別学習計画」は、一斉指導の授業に比べ、生徒自身が自己肯定感を実感している感触

## 6. 今後の展望

